

総務企画常任委員会研修報告

総務企画常任委員会は平成24年11月5日～6日に山梨県道志村及び南アルプス市を訪問して視察研修を行いました。道志村は神奈川県相模原市等に隣接する東西に細長い山あいの人口約1900人、600世帯の村です。都市から観光客が年間100万人と40年前から観光立村を推進しています。しかし、山間部の為、ブロードバンドがほぼゼロの地域で防災無線も難聴地域が多く、災害時の孤立化、独居老人等の増加、若者の都市部への流出を防ぐ為に、総務省等の助成を受けて道志村情報通信基盤整備事業に着手したとの事です。①ブロードバンド提供事業者と契約を結び、都市との情報格差是正を図り情報通信基盤の整備②行政情報提供システム事業に93%の世帯が加入し、光ファイバーを利用したテレビ電話を活用して防災行政情報の告知、にっこりコール光センターを拠点に独居の方、高齢者等に定期的に声をかけ、安否確認、生活全般の相談業務の内容を実際に研修しました。次に南アルプス市は山梨県最西端の平成15年に4町2村が合併した人口約7万3千人の市です同市が合併して10年目を迎え、国からの交付税算定替に伴う減額が予想される中で本格的な行政改革が必要という事、特に公共施設を身の丈にあった適正配置と持続可能な運営を図れるよう総量抑制を進めるという事で同市の公共施設432施設を目的や利用状況、市全体のバランス配置、耐用年数、管理運営費などを総点検する白書を作成し、どのように集約を図るかの方針を出して各地域ごとに市政説明会を実施しているとの事です。さらに同市の自然エネルギーの導入として公共施設への太陽光発電システムの実施状況や木質バイオマス、小水力発電事業の説明を受けました。本市に生かせる充実した研修内容でした。

総務企画常任委員会 委員長 平塚英教



道志村職員の説明を受ける委員